設定

設定 ページ（ ダッシュボード → 設定
）では、アカウントとライセンスの情報を要約し、請求の管理、プラットフォームのセットアップ（ Android Management と Apple Management
）、およびオプションのディレクトリ／トークン連携を行うためのアクションを提供します。

ライセンスバナー（まもなく期限切れ

／期限切れ）
まもなく期限切れ 、期限切れ 、または 終了
の場合、ページの上部に目立つバナーが表示されます。サブスクリプションの状態に応じて、 請求を管理アクション（ Stripe カスタマーポータル）または ライセンスを購入 アクションが表示されます。

ライセンスが期限切れになると、アカウントはデバイスの登録解除のみに制限されます。猶予期間を
過ぎると、アカウントがキャンセルされ、デバイスが自動的に登録解除される場合があります。

Apple

証明書とトークンのバナー（まもなく

期限切れ／期限切れ）
Apple Push Certificate (APNs)、Apple Business トークン（ Automated Device Enrollment）、および Apps and Books トークン（旧 VPP）は毎年更新する必要があります。 有効期限の 30日前 から、
まもなく期限切れ または 期限切れ
の各証明書またはトークンについて、有効期限または動作を停止した機能を示すバナーがダッシュボードの
上部に表示されます。 更新方法
アクションを実行すると、対応する更新手順を展開したこのページが開きます。

Apple デバイスの一部の MDM 証明書が 14 日以内に期限切れになり、自動更新が完了していない場合、または期限切れになっている場合にもバナーが
表示されます。これらのデバイスは再登録する必要があります。 デバイスを表示 アクションを実行すると、

Apple Push Certificate の有効期限が切れると、 Apple
デバイスはコマンドやポリシーの更新を受信できなくなります。 Apple Business
トークンの有効期限が切れると、 Automated Device Enrollment が機能しなくなります。 Apps and Books トークンの有効期限が切れると、アプリを配布できなくなります。

Cerberus Enterprise アプリのバナー
Cerberus は、 Apps and Books のデバイスライセンスを使用して、無料の Cerberus Enterpriseアプリを iPhone と iPad（ iOS および iPadOS 18.4 以降）にインストールします。アプリが Apple Business
ライブラリにない場合、 Apps and Books トークンが欠落または期限切れの場合、または一部の iPhone と
iPad
がまだアプリを待機している場合（その台数を含む）は、ダッシュボードの上部にバナーが表示されます。
追加方法 を実行すると、 Cerberus Enterprise アプリ の行で手順が表示されたこのページが開きます。
設定方法 （Apps and Books トークンが欠落または期限切れの場合に表示）を実行すると、 Apps and
Books トークンの手順が開きます。

エンタープライズ管理者アクセス
エンタープライズ管理者アクセス
カードは、マルチテナンシーアカウント（例：マネージドサービスプロバイダー）によって管理されている
エンタープライズにのみ表示されます。このカードでは、どの管理者アカウントがエンタープライズを操作
できるかを確認し、そのアクセスを制御できます。

カードには次のものが表示されます：

エンタープライズの 所有者
。所有者には常にアクセス権があり、そのアクセスを取り消すことはできません。
マルチテナンシーアカウントの各管理者アカウント。 メイン管理者 または サブアカウント
としてラベル付けされ、名前、ユーザー名、アクセス状態（ 許可済み 、取り消し済み 、または
未許可 ）が表示されます。

アクセスの許可と取り消し

許可 を使用して管理者アカウントがエンタープライズにアクセスして管理できるようにし、 取り消し
を使用してそのアクセスを削除します。各アクションでは確認が求められます。アクセスが取り消された管
理者は、現在そのエンタープライズで作業中であっても、操作できなくなります。

エンタープライズ管理者は、一覧に表示される任意の管理者アカウントのアクセスを許可または取り消すことができます。
メイン管理者は、自身のアクセスが許可されている間のみ、自身のサブアカウントのアクセスを許
可または取り消すことができます。自身にアクセスを許可することはできず、自身のアクセスを取
り消すこともできません。

メイン管理者
のアクセスを取り消すと、そのすべてのサブアカウントのアクセスも取り消されます。該当する場合
、確認ダイアログにはアクセスを失うサブアカウントが一覧表示されます。

アカウント情報
アカウント情報 カードには読み取り専用フィールドが表示されます：

ユーザー名
エンタープライズ名
エンタープライズ ID

パスワードの変更

Google、Apple、または Microsoft でサインインしていない場合、カードには パスワードの変更アクションも表示されます。これを実行すると、パスワード変更フローを続行するためのダイアログが開き
ます。

上部ツールバーのユーザーメニューから、 パスワードの変更を使用していつでもパスワードを変更することもできます。これは、エンタープライズに入らずにパスワー
ドを変更できるマルチテナンシーアカウントに便利です。

管理者がアカウントを作成した場合、またはパスワードをリセットした場合は、一時パスワードでサインインし、続行する前に新しいパスワードを選択する必要があります。

ライセンス情報
ライセンス情報
カードには、現在のライセンス状態とデバイス上限が表示されます。また、営業への問い合わせ、請求の管理、またはライセンスの購入を行うためのアクションも提供します。

ライセンス状態 ：有効 または 期限切れ
として表示されます（アイコンバッジとツールチップ付き）。
無料トライアル ：アカウントが現在トライアルモードの場合に表示されます。
ライセンス済みデバイス : ライセンスで許可されているデバイスの最大数。
もっとデバイスが必要ですか ?
リンクをクリックすると、サポートに連絡するメッセージが開きます。登録済みデバイスは、その
状態 (アクティブ、紛失、無効など)
に関係なくカウントされます。登録解除されたデバイスはカウントされず、登録するまで Apple Business
から同期されたデバイスもカウントされません。上限に達すると、新しいデバイスは追加されず、
その登録が削除されます。このイベントはシステム
ログに記録され、アカウント管理者にメールが送信されます。 Apple デバイスでは削除に約 1
分かかり、すでにカウントされているデバイスは再登録でき、 Return to Service
で消去されたデバイスも再登録できます。
次回の定期更新
：自動更新される有効なサブスクリプションの場合に表示されます。それ以外の場合、カードには
有効期限 が表示されます。

Android Management
Android Managementカードには、エンタープライズの Android Management
の状態が表示されます。 Android Management がまだ設定されていない場合、カードには Android Management をセットアップ アクションが表示され、セットアップフローが開きます。

設定済みの状態

Android Management が設定されている場合、カードには次のものが表示されることがあります：

管理 ID
バインドタイプ ：エンタープライズが Managed Google Play アカウント とManaged
Google ドメイン のどちらを使用しているかを示します。
Google Workspace と同期済み （ディレクトリ同期が有効な場合に表示されるバッジ）
Google Workspace と同期
（ディレクトリ同期が設定されていない場合に表示され、ページ下部の手順パネルが開きます）

Android エンタープライズのバインド
Android Management は、 Managed Google Play アカウント または Managed Google ドメイン
のいずれかに関連付けることができます。 バインドタイプ
フィールドには、現在エンタープライズに関連付けられているオプションが表示されます。

Managed Google Play アカウント は、軽量な Android Enterprise アカウントです。 Cerberus Enterprise を通じて Android デバイスとアプリを管理するのに適していますが、 Google Workspace や Cloud Identity の組織とは別のものです。 Managed Google ドメインで利用できる中央の Google
管理エクスペリエンスは提供されません。

Managed Google ドメイン は、 Android Enterprise を組織の Google ID に関連付けます。 IT 管理者は、 Cerberus Enterprise で Android アプリとポリシーを引き続き管理しながら、 Google Admin Console から Google Workspace、Cloud Identity、Gemini などの Google 製品を管理できます。これにより、 Android 管理へのより合理化された統合的なアプローチが実現し、 Google Workspace
ベースの登録およびユーザー管理のワークフローが可能になります。

エンタープライズが Managed Google Play アカウントを使用している場合、設定カードには Managed Google ドメインへのアップグレード
と情報アクションが表示されます。アップグレードを実行すると、既存の Android エンタープライズを
Managed Google ドメインに移行するための Google のガイド付きプロセスが開きます。

アップグレード中、 Google は仕事用メールアドレスに関連付けられた既存の Google Admin
アカウントをバインドするか、新しい無料の Google Admin アカウントを自動的に作成できます。
Google のガイド付きセットアップを続行するには、 name@enterprise.com
のような仕事用メールアドレスを使用してください。

Apple Device Management
Apple Device Managementカードには、エンタープライズの Apple デバイス管理（ MDM
）の状態が表示されます。 Apple 管理がまだ設定されていない場合、カードには Apple
管理をセットアップ アクションが表示され、セットアップフローが開きます。

設定済みの状態

Apple 管理が設定されている場合、カードには次のものが表示されることがあります：

Apple ID
Apple Push Certificate の有効期限
：有効期限とアイコンバッジが表示されます。証明書がまもなく期限切れまたは期限切れの場合、
バッジをクリックすると更新手順が開きます。
Apple Business トークンの有効期限 ：Automated Device Enrollment に使用される Apple Business
トークンの有効期限が表示されます（アクションが必要な場合はクリック可能なバッジ付き）。
Apps and Books トークン ：Apple Apps and Books コンテンツトークン（旧 Volume Purchase Program (VPP)
）の組織名と有効期限が表示されます（アクションが必要な場合はクリック可能なバッジ付き）。

Cerberus Enterprise アプリ ：Apps and Books トークンカードで、アプリが Apple Business ライブラリにあるかどうか（ ライブラリにあり（無制限のライセンス） 、ライブラリにない
、または 利用不可： Apps and Books トークンの有効期限が切れています
）と、アプリを待機している iPhone と iPad
の台数を表示します。アプリがない場合、行には追加する手順が一覧表示されます（ Apple Business でApps & Services → Apps & Books → App Storeを開き、「 Cerberus
Enterprise」を検索して 表示 をクリックし、次に 追加 をクリックし、 Organizational Unitsで
現在および将来のすべて を選択し、 追加 をクリックして、 確認 で確定します）。 再確認
を実行するとライブラリが再度読み取られ（最大 5
分ごと）、アプリを待機しているデバイスがアプリを取得します。
Apple Business：Apple Business ポータルへのリンク。 Apple Business
トークンが存在する場合に表示されます。
Apple Business と同期 および Apple Apps and Books と同期
：トークンが欠落している場合に表示されます。

Apple 管理には APNs 証明書のセットアップが必要です。必要な場合は、 Apple

管理のセットアップ（ APNs） を参照してください。

環境設定とプライバシー
環境設定とプライバシー
カードには、マーケティング設定のトグルと、利用規約およびプライバシーポリシーへのリンクが含まれて
います。変更を適用するには 環境設定を保存
を使用します（保存中は進行状況インジケーターが表示されます）。

フィードバックを送信
アカウントでサブスクリプションが有効になっている場合、ページには フィードバックを送信カードが表示され、 機能リクエストを行う
ことや外部のレビュープラットフォームへのリンクが含まれることがあります。

インラインのセットアップと更新の手

順

ページの下部では、現在の状態（たとえば証明書やトークンが欠落しているか、まもなく期限切れの場合）
に応じて、ダッシュボードに展開可能な手順パネルが表示されることがあります。

Apple Push Certificate (APNs) の更新
APNs 証明書がまもなく期限切れまたは期限切れの場合、ページには CSR をダウンロードし、 Apple のポータルで証明書を更新し、新しい証明書を Cerberus Enterprise
にアップロードする手順を示すパネルが表示されます。

証明書またはトークンがまだ有効な間は、その横のアップロードボタンで同じ手順が開きます。新し
い Apple Business トークンまたは Apps and Books
トークンをダウンロードしたとき（古いトークンが使えなくなるため）、または Apple Push
Certificate を早めに更新するときに使用します。必ず現在の Apple Push Certificate
を更新してください。 Apple
デバイスが登録されている間は、別の証明書は拒否されます。登録済みデバイスに到達できなくなる
ためです。

Apple Business と同期
Apple Business トークンが欠落、期限切れ、またはまもなく期限切れの場合、ページには Apple Business
からトークンをダウンロードして Cerberus Enterprise
にアップロードする手順を示すパネルが表示されます。新規接続の場合は、 Cerberus Enterprise
で公開鍵証明書を生成し、 Apple Business でDevices → Management Servicesを開き、 Device
Management Servicesの下の Addをクリックし、 Connect external device management
を選択して Continueをクリックします。 Service Name（例： Cerberus Enterprise）を入力し、
Upload Certificateで証明書をアップロードし、 Nextをクリックして、 Download Service Tokenと Doneを実行します。トークンを更新するには、 Management Servicesで Cerberus Enterprise
サービスを選択し、右上の …（その他）ボタンをクリックして Download Tokenを選択します。

デバイスは、 Apple Business で Cerberus Enterprise
のサービスに割り当てられている場合にのみ、 Cerberus Enterprise に登録されます。 Devices → Management Services → Default Device Assignment
を開いて新しいデバイスを自動的に割り当てる（デバイスタイプごと）か、 Devices → Inventory
を開いてデバイスを選択し、 Assign Device Managementをクリックします。

Apple Apps and Books (VPP) と同期
Apps and Books トークンが欠落、期限切れ、またはまもなく期限切れの場合、ページには Apple Business
からコンテンツトークンをダウンロードして Cerberus Enterprise
にアップロードする手順を示すパネルが表示されます。 Apple Business で右上の組織メニュー（組織名） →

Settings → Organizational Units **Content Token** **Download** 1 Apple Account

Apps and Books Cerberus Enterprise Apple Business Cerberus iPhone iPad

Google Workspace

Google Workspace Google OAuth **https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly**

Android **Android Management**

Revision #45
Created 2026-01-16 17:51:28 UTC by Admin
Updated 2026-11-12 09:56:10 UTC by Admin